



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月2日

上場会社名 イビデン株式会社

上場取引所 東 名

コード番号 4062 URL <http://www.ibiden.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 竹中 裕紀

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長

(氏名) 佐野 尚

TEL 0584-81-3111

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	68,250	△1.3	4,152	△51.7	3,475	△56.3	1,398	△53.9
23年3月期第1四半期	69,162	12.1	8,590	171.4	7,957	244.7	3,033	30.1

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 568百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △6,178百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	9.77	9.66
23年3月期第1四半期	20.86	20.70

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	377,326	268,333	69.8
23年3月期	397,580	271,249	67.0

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 263,264百万円 23年3月期 266,309百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	15.00	—	25.00	40.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 平成24年3月期の配当予想額につきましては、未定であります。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	140,000	△3.8	7,000	△59.9	5,800	△63.0	2,400	△65.2	16.77
通期	310,000	1.7	22,000	△34.9	21,000	△37.5	12,300	△37.7	85.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	150,860,557 株	23年3月期	150,860,557 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	7,769,290 株	23年3月期	7,768,937 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	143,091,396 株	23年3月期1Q	145,437,717 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する情報	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

【定性的情報・財務諸表等】

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の発生当初に見られたサプライチェーンの混乱は終息に向かい、持ち直しの兆しが見られました。しかし、生産力は大きく低下し、欧米景気も停滞したため、輸出が減少しました。また、世界経済の拡大を支えてきた新興国においてもインフレ抑制政策により、成長の鈍化が懸念されました。

半導体・電子部品業界におきましては、スマートフォンやタブレット型携帯端末の需要が高い伸びを示しましたが、パソコン市場の需要停滞による在庫調整により、全体として低調に推移しました。

自動車排気系部品業界におきましては、震災の影響が大きい日本市場を除く欧米及び新興国市場は底堅く推移しました。

このような情勢のもと、当社グループでは、連結中期経営計画の基本方針を軸に全社全部門において、事業の構造改革に取り組んでまいりました。具体的には、当社の強みが活かせる高付加価値製品にビジネスの舵を切るとともに、グローバルな最適生産体制を進展させるなど、企業体質の強化に努めてまいりました。平成23年4月には、スマートフォン向けプリント配線板の生産拠点、イビデンエレクトロニクスマレーシア(株)が稼働を開始いたしました。

これらの結果、当第1四半期の売上高は、682億50百万円と前年同期に比べ9億12百万円(1.3%)減少いたしました。営業利益は41億52百万円と前年同期に比べ44億38百万円(51.7%)減少し、経常利益は34億75百万円と前年同期に比べ44億82百万円(56.3%)減少し、四半期純利益は、13億98百万円と前年同期に比べ16億35百万円(53.9%)減少いたしました。

セグメントの概況は、次のとおりであります。

電子事業

プリント配線板は、成長するスマートフォン市場向け製品の受注拡大につとめましたものの、製品構成が高付加価値製品への移行途上であったため、売上減となりました。

小型・薄型パッケージは、スマートフォンやタブレット型携帯端末向けへの採用が拡大し、高付加価値な新世代品への切り替わりも進んだことにより、売上は大幅に増加しました。

高機能・多層パッケージは、特にコンシューマー向けのノートブック型パソコンの低迷によって市場全体が停滞し、さらに製品交代の端境期であったことから顧客の在庫調整が進み、売上は減少しました。

以上により、電子事業の売上高は、389億67百万円となり、前年同期に比べ10.8%減少しました。また、同事業の営業利益は19億18百万円となり、前年同期と比べ70.8%減少しました。

セラミック事業

ディーゼル・パティキュレート・フィルター(DPF)は、欧州の自動車市場においてディーゼル車の販売が堅調に推移したことに加え、DPFの搭載率が上昇したことにより、売上は増加しました。

触媒担体保持・シール材は、震災の影響により日本の自動車市場は低迷したものの、欧米や新興国は堅調に推移し、売上は微増となりました。

特殊炭素製品では、アジアにおける太陽電池向け市場が拡大したことにより、シリコン製造装置用部材を中心に受注量は増加しました。

以上により、セラミック事業の売上高は193億65百万円となり、前年同期に比べ26.9%増加しました。また、同事業の営業利益は18億46百万円となり、前年同期と比べ2.5%増加しました。

建材事業

メラミン化粧板は、店舗着工数が低水準ながらも回復の兆しが見られるなか、店舗内装向け化粧板の拡販に努めた結果、前年同期並みの販売数量となりました。

住宅設備機器は、住宅着工数が回復傾向にあり、太陽光発電パネルなどの環境関連部材の拡販に努めた結果、前年同期並みの売上となりました。

以上により、建材事業の売上高は40億20百万円となり、前年同期に比べ2.6%減少しました。また、同事業の営業損失は2億65百万円(前年同期は、3億55百万円の営業損失)となりました。

建設事業

法面工事部門及び造園工事部門は、震災の影響による公共工事の計画見直しや民間設備投資の回復の遅れがあったものの、前年並みの売上を確保しました。

以上により、建設事業の売上高は15億80百万円となり、前年同期に比べ6.2%増加しました。また、同事業の営業利益は1億87百万円となり、2.1%減少しました。

その他事業

合成樹脂加工部門は、自動車部品向け発泡樹脂製品が震災による自動車生産縮小の影響を受け、売上減となりました。農畜水産物加工部門は、当社に強みがある乾燥食材の採用拡大が進み、売上増となりました。

以上により、その他事業の売上高は、43億15百万円となり前年同期に比べ5.9%減少しました。また、同事業の営業利益は1億13百万円となり、45.9%減少しました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における総資産は、前連結会計年度末に比べ202億53百万円減少しました。主な増減としては、たな卸資産が50億36百万円、有価証券が28億62百万円それぞれ増加し、現金及び預金が178億72百万円、受取手形及び売掛金が115億8百万円それぞれ減少しております。

負債では未払法人税等が84億37百万円、支払手形及び買掛金が33億19百万円、設備関係支払手形が18億83百万円減少しております。また純資産は、配当金の支払いによる利益剰余金の減少などにより、29億15百万円減少しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年4月26日に公表いたしました連結の業績予想のうち、平成24年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期につきまして業績予想を修正しております。

なお、詳細につきましては、本日（平成23年8月2日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（その他）に関する情報

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算・・・見積実効税率を利用して税金費用を計算する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	66,982	49,109
受取手形及び売掛金	56,348	44,840
有価証券	27,317	30,179
商品及び製品	11,726	15,218
仕掛品	8,297	8,318
原材料及び貯蔵品	9,786	11,309
繰延税金資産	3,394	3,578
その他	4,650	5,578
貸倒引当金	△427	△394
流動資産合計	188,075	167,738
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	66,577	66,085
機械装置及び運搬具（純額）	51,173	58,061
土地	17,813	17,807
リース資産（純額）	2,703	2,690
建設仮勘定	31,832	25,985
その他（純額）	4,016	4,310
有形固定資産合計	174,116	174,941
無形固定資産	4,398	4,264
投資その他の資産		
投資有価証券	25,012	24,951
長期貸付金	43	46
繰延税金資産	4,320	3,807
その他	2,057	2,020
貸倒引当金	△443	△444
投資その他の資産合計	30,990	30,381
固定資産合計	209,505	209,587
資産合計	397,580	377,326

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	47,570	44,250
短期借入金	18,385	18,220
未払金	19,043	17,172
未払法人税等	9,302	864
繰延税金負債	17	16
賞与引当金	3,835	1,846
役員賞与引当金	257	—
設備関係支払手形	6,724	4,841
その他	8,846	9,834
流動負債合計	113,982	97,047
固定負債		
長期借入金	5,078	5,061
リース債務	1,384	1,323
再評価に係る繰延税金負債	179	179
退職給付引当金	766	491
役員退職慰労引当金	711	577
繰延税金負債	2,803	2,822
負ののれん	3	2
その他	1,421	1,488
固定負債合計	12,348	11,945
負債合計	126,331	108,993
純資産の部		
株主資本		
資本金	64,152	64,152
資本剰余金	68,331	68,331
利益剰余金	179,076	176,897
自己株式	△30,640	△30,641
株主資本合計	280,920	278,740
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,076	2,300
繰延ヘッジ損益	△20	—
土地再評価差額金	48	48
為替換算調整勘定	△16,715	△17,825
その他の包括利益累計額合計	△14,611	△15,476
新株予約権	1,376	1,487
少数株主持分	3,563	3,581
純資産合計	271,249	268,333
負債純資産合計	397,580	377,326

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	69,162	68,250
売上原価	48,975	51,241
売上総利益	20,187	17,008
販売費及び一般管理費	11,596	12,855
営業利益	8,590	4,152
営業外収益		
受取利息	53	61
受取配当金	249	282
負ののれん償却額	21	0
持分法による投資利益	57	—
その他	203	292
営業外収益合計	585	637
営業外費用		
支払利息	77	61
設備賃貸費用	3	3
持分法による投資損失	—	24
為替差損	598	1,107
休止固定資産減価償却費	378	—
その他	159	116
営業外費用合計	1,218	1,314
経常利益	7,957	3,475
特別利益		
固定資産売却益	2	2
補助金収入	43	28
貸倒引当金戻入額	137	—
新株予約権戻入益	297	14
その他	15	0
特別利益合計	495	45
特別損失		
固定資産除却損	103	107
投資有価証券評価損	40	422
前期損益修正損	1	—
その他	14	—
特別損失合計	160	529
税金等調整前四半期純利益	8,293	2,991
法人税等	3,782	1,557
過年度法人税等	1,419	—
法人税等合計	5,201	1,557
少数株主損益調整前四半期純利益	3,091	1,434
少数株主利益	57	35
四半期純利益	3,033	1,398

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,091	1,434
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,352	223
繰延ヘッジ損益	△1	20
為替換算調整勘定	△6,915	△1,109
その他の包括利益合計	△9,270	△865
四半期包括利益	△6,178	568
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△6,221	533
少数株主に係る四半期包括利益	42	34

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

[セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	電子	セラ ミック	建材	建設	計		
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	43,695	15,261	4,129	1,488	64,575	4,587	69,162
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	12	10	7	2,576	2,607	1,232	3,839
計	43,707	15,271	4,137	4,065	67,182	5,819	73,002
セグメント利益 又は損失(△)	6,575	1,801	△355	191	8,213	209	8,423

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、合成樹脂加工業、農畜水産物加工業、石油製品販売業、情報サービス等の各種サービス業等を含んでおります。

② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	8,213
「その他」の区分の利益	209
セグメント間取引消去	△15
全社費用及び利益(注)	182
四半期連結損益計算書の営業利益	8,590

(注) 全社費用及び利益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費や電力利益であります。

③ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	電子	セラ ミック	建材	建設	計		
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	38,967	19,365	4,020	1,580	63,934	4,315	68,250
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	4	9	4	2,764	2,782	1,803	4,586
計	38,971	19,375	4,025	4,345	66,717	6,119	72,836
セグメント利益 又は損失(△)	1,918	1,846	△265	187	3,687	113	3,800

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、合成樹脂加工業、農畜水産物加工業、石油製品販売業、情報サービス等の各種サービス業等を含んでおります。

② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,687
「その他」の区分の利益	113
セグメント間取引消去	107
全社費用及び利益(注)	243
四半期連結損益計算書の営業利益	4,152

(注) 全社費用及び利益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費や電力利益であります。

③ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

特記すべき事項はありません。